

## 貸室について

施設のご利用についてはお気軽に各施設へご相談ください。



### 部屋の定員 (目安)

ルーム1 18人  
ルーム2 18人  
ルーム3 12人  
和室 12人


プレイス1 16人  
プレイス2 8人  
創作スペース 16人  
工作スペース 26人

### 申込方法

- ①まずは使用したい日時が空いているか電話等で確認
- ②空いていたらその場で仮予約
- ③使用する日の10日前までに「使用申請書」を提出


### 予約開始日時

2017年7月までの分…先着順にて随時受付中！  
2017年8月分…2017年5月6日(土) 9:00  
2017年9月分…2017年6月3日(土) 9:00

 十日町市  
市民交流センター  
分じろう

〒948-0082  
十日町市本町2丁目226-1  
TEL 025-750-7770  
FAX 025-761-7445

HP [bunjirou-10jirou.com](http://bunjirou-10jirou.com)

 十日町市  
市民活動センター  
十じろう

〒948-0082  
十日町市本町3丁目6-4  
TEL・FAX 025-750-7771

開館 9:00-22:00  
休館日 火曜・年末年始



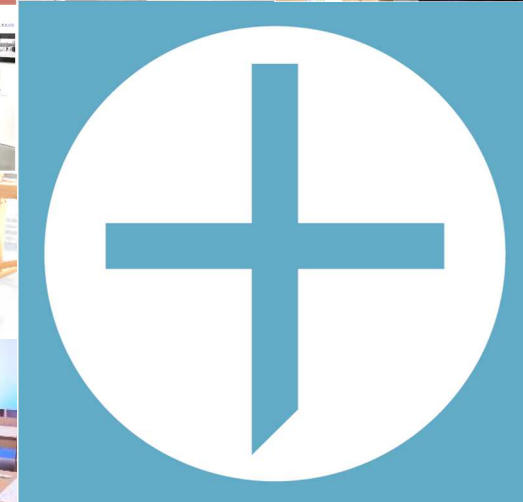
発行/NPO法人 市民活動ネットワークひととサポ  
〒948-0082十日町市本町2丁目226番地1 分じろう内  
TEL 025-761-7444(火曜定休)  
(十日町市より運営の委託を受けています。)

まちなかステージ分じろう・十じろうの情報をお届け

1周年特別号

# 分じろうと十じろう

No.4



### お知らせ

平成28年4月の竣工式、5月のオープン準備月間、6月以降の貸室開始から早1年が経とうとしています。この1年間、分じろうと十じろうを通して本当にたくさんの方と出会い、みなさんの想いや活動に触れることができました。そんなオープン1年目を振り返ります。

## 分じろうと十じろう誕生！

竣工式 4月23日(土) ▶ 5月 オープン準備月間 ▶ 6月 貸室スタート

### 分じろうと十じろうってなに？

分じろうと十じろうは、市民のみなさんが十日町市をよりよくするための市民活動や交流を行うための拠点「まちなかステージ」です。

まちなかで楽しむ。  
それがまちを変える。

### そもそも何のためにつくられたの？

十日町市のまちなかは、少子高齢化、空き家、空き地などによってかつてのにぎわいが失われつつあります。

この課題を解決すべく中心市街地活性化の取組みが始まり、分じろうと十じろうも「まちなかステージづくり」というプロジェクトのもと、さまざまな目的・世代が主体的に楽しい活動を実践する場として整備されました。

まちなかで楽しみ、いきいきとまちづくり活動をする人が増えることによって、まち全体が新たなにぎわいに満ち、魅力あるまちになることを目指しています。



### 何をするとところなの？

分じろうは「発信」と「交流」、十じろうは「活動」と「創作」の場を想定して、フリースペースや用途さまざまな貸室を用意しています。

ちょっとした打ち合わせから講演会や懇親会、イベント、お茶会、展示会、舞台、焼物、工作、染物などなど…使い方はみなさんのアイデア次第でさまざまです。その他、無料休憩所、新聞閲覧、エコ商品交換などのサービスもしています。



### どんなふうにつくられたの？

まちなかステージは、施設の構想段階から、使い手である市民のみなさんがコンセプトづくり、デザイン、具体的な活動を設計者と一緒になって考え、つくられたところが大きな特徴です。平成25年から27年にかけて、ワークショップや勉強会で対話を重ねました。

### この取組みは「グッドデザイン賞2016」 ベスト100に選ばれました！

受賞対象＝公共施設設計「ブンシツ」および十日町まちなかステージ  
応援団の活動  
設計者である青木淳建築計画事務所と市民がワークショップや意見交換を重ね、一体となって設計した協働の取組みが評価されました。




## 定期イベントのご紹介

毎月10日は

# とおか市

出店者も  
募集中

10：00～14：00

 分じろう マーケット広場



主催：NPOにぎわい ☎ 025-761-7230

## 相談窓口のご案内

分じろうの事務室では、市民活動に関する相談を承っています。

施設の使い方に限らず、団体活動の中で抱える悩みをお気軽にご相談ください。

チラシ・ポスターの掲示、チケット販売などで団体のPRのお手伝いもしています。

場所：分じろう1F 事務コーナー  
時間：9:00～17:00（火曜定休）

## ブンシツ通信 03

連載コーナー

### 土器の展示室

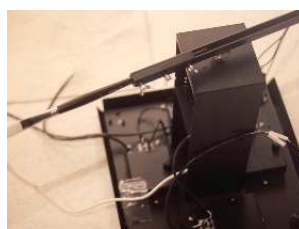
分じろうの1階にある、洞窟のように泥団子の壁で覆われ、縄文時代にタイムスリップしたかのような「文化歴史コーナー」に足を運ばれたことはありますか？ここは、博物館以外で「火焰型土器」など市の宝を見学できる場所です(展示内容は随時変更)。

泥団子の土壁とドーム状の天井が特徴的なこの部屋の中央に土器が展示されています。この土器、ちょっぴり変わった展示になっていることにお気づきでしょうか。

一般的な展示のように天井から土器を照らすのではなく、展示ケースの下から上に向かって土器を照らすことにより、当時、囲炉裏の真ん中で土器を囲んでいた様子を思い起こさせるかのように天井面にゆらゆらと土器の影が映ります。

土器の影がゆらゆらと動くと、不思議ではありませんか？実はこれは、著名な照明デザイナーである岡安泉さんに特別にデザインしてもらった照明なのです。シンプルな機構かつ奇抜な発想で、揺らめく炎の光を再現しています。展示台をじっくり観察すると、この特殊な仕組みの意外な答えがわかります。

みなさん、次回「文化歴史コーナー」に遊びに来た際には、土器などだけでなく、展示台にも注目して見学してみてください。



ブンシツ通信

十日町まちなかステージ応援団がお届けします

## 開催イベントの振り返り

同時開催編

8/7 (日) **青春フェスタ**  
主催：NPOにぎわい

**まちなか十校目**  
企画運営：NPO市民活動ネットワークひとサボ

十じろうの全館オープン記念イベントと、毎年開催していた地元高校生による青春フェスタを同日に開催。十じろうでは各部屋で大人も子どもも学べる学校を開校。分じろうでは屋台・お化け屋敷・バンド演奏などで若者の熱気に満ちていました。



9/11 (日) **めっかめっか2016** 企画運営：NPO市民活動ネットワークひとサボ



7回目となった市民活動見本市。市内で活動する団体が、日頃の活動のPRの場として両施設で思い思いのブースを出展しました。両施設を行き来してもらうことでまちなかにぎわいが生まれたと同時に、十日町の市民活動のちからがまちなかステージに集結しました。

**とおかまちあるき** 主催：とおかまちあるきプロジェクト

11/12 (土) **撮影会**

3/3-11 **作品展**



高校生に十日町の魅力を新発見・再発見してもらい、地域を誇りに思ってもらいたいという想いで地元出身の大学生が企画しました。秋のとある日、ガイドとともに各コースをまちあるきし、卒業シーズンには撮った写真と想いを展示。場所と時間をまたぎじっくり取り組みました。



とおかまち  
スズキ  
スキ!!

## H28年度の利用状況と取組み

H28.6.1～H29.3.20時点

### □来館者数

分 30,423名

+

17,524名 計 47,947名

### □使用団体数・使用回数 (ともに延べ数)

分 290団体 474回 使用

+

115団体 256回 使用

### □まちなかステージ登録団体 ..... 91団体

### □イベント開催数

分 100件

+

37件 計 137件

※5月のオープン準備月間含む

### □イベント参加団体 (延べ数)

分 469団体

+

59団体 計 528団体

※5月のオープン準備月間含む

### □情報発信

- ・情報誌『分じろうと十じろう』No.1～4発行 (9月、11月、1月、3月)
- ・WEBサイト、Facebookページ運用
- ・エフエムとおかまちラジオ出演 数回

たくさんのご利用をいただき、ありがとうございました！  
イベントの開催などを通じ、皆さんのアイデアの豊富さには驚かされっぱなしでした。  
これからも色々な面で皆さんのサポートをさせていただきま  
すので、分じろう・十じろうと一緒に〈まちなか〉を盛り上  
げ、市全体を元気にしていきましょう！

市民活動コーディネーター  
蕪澤より



facebookでも随時  
情報発信中!



**分じろう**

両施設合計137のイベントの中から一部をご紹介します！

**浴衣でクラフトピアテラス**

開催日：7月23日(土) 主催：まちなか手芸部



眠っているきものをリメイクし、小物や衣装を創作しているまちなか手芸部が企画しました。当日は屋台、フルートやギターの演奏のほか、バルーンアートを楽しめるキッズスペースや着付け室も用意され、浴衣を着た大人と子どもで大賑わいでした。夏でも快適な半屋外空間を生かし、きものまち十日町らしいにぎわいがまちなかに生まれました。

**知ったかアート大学**

開催日：10月26日(水)・1月13日(金)・14日(土) 主催：ReART Project



大地の芸術祭参加アーティストとのつながりを活かして行われている企画。アートのまち十日町で、地元の人にこそもっとアートを楽しんでほしい、という想いで開催しました。アートをおもしろおかしく学べ、ちょっと知ったかぶりできる楽しい学校です。ReART Projectはまちなかステージ誕生とともに動き始めた新しい団体。このほかにも、アート×食×地域をつなげるART MIX Cafeも主催しています。

**第5回ハロウィン仮装パーティ&飛渡 秋の汁まつり**

開催日：11月5日(土)

主催：十日町蘭の会、食と農を考える飛渡の会、第5回ハロウィン仮装パーティ実行委員会



これまで別々に開催していたイベントが協力し、イベントをパワーアップさせ開催しました。飛渡地区に伝わる合わせおけさも仮面をつけてハロウィン仕様。団体同士がつながるとともに、中山間地とまちなかがつながったイベントとなりました。

**十じろう**

**まちなかチャレンジスクール**

開催日：1月7日(土) 企画運営：NPO市民活動ネットワークひとサポ



十日町高校の高校生が、小学生向けに7つのブースで授業を行いました。高校生は先生役をすることで学びを深め、小学生は普段と違う学習の場で授業を楽しんでいました。普段関わることのない世代が交流し、お互いの将来に活かしてもらえる場を今後も提供していく予定です。

**雪なでし子アンティーク着物展 ～なでしこ色～**

開催日：1月14日(土)・15日(日) 主催：雪なでし子



「若者にももときものを身近に感じてほしい」という想いで活動している雪なでし子が、初めて実現させた展示会。地元呉服屋の協力を得ながら、お気に入りのアンティークきものコレクションを節季市に合わせて展示しました。訪れた人をうっとりさせる鮮やかなきものにひとつひとつ丁寧に解説を加え、来場者に想いを伝えました。第2弾の開催にも意欲的です。

**吉田地区中手集落パネル展**

**7世帯の集落でもできること ～小さなムラの活動報告～**

開催日：1月27日(金)～29日(日) 主催：中手地域づくり会



集落の元気な活動を多くの人に知ってもらおうべく、住民全員が協力して開催。28日に行ったイベントでは、ムラのために作った歌「愛しの中っ手」をみんなで合唱。平均年齢73歳、過疎化の進む7世帯の小さなムラの取り組みは、同様の問題を抱える集落への刺激やヒントとなり、集落の眠れる魅力を多くの人に発見させてくれました。